立花生徒会新聞 Gerbera 通信

第8号　平成24年
7月11日
尼崎市立立花中学校
生徒会執行部　発行

ガーベラの花言葉
常に前進・希望
(立花中学校、全員で常に前進していきましょう)

総合体育大会

立花中学校には現在、十個の運動部があります。その十個の運動部の三年生は、入部当初から夏の総合体育大会に向けて日々努力してきたと思います。中学校生活での運動部のゴールである総体は水泳部を最初とし、六月三十日から始まっています。先週の土曜日、日曜日で、ほとんどの部活の総体がありました。上位大会である「阪神大会」にすすんだ部活もたくさんあります。おめでとうございます。夏の総合体育大会は、引退を懸けた大事な試合です。各クラブ、各自でしっかりと準備し望んだことだと思います。悔いの残らない試合ができましたか？今年の総合体育大会のスローガンは「強い意志　東播磨の空へ　舞い上がれ!!」です。このスローガンは、まるで空に舞い上がるかのように、相手に強い意志を持って一生懸命、立ち向かおう!と言う意味が込められていると思います。人が一生懸命に頑張っている姿は、人々に感動や希望を与えると私は思います。応援してくださった方々やお世話になった顧問の先生、辛いときや厳しい練習を共にした仲間たちに感動を与えるような試合ができましたか？それぞれ思うことがあると思います。満足のいく結果を残せた人や「あのとき、あぁしとけば良かった。」と悔しい思いをした人もいると思います。中学校での部活動は終わっても、中学校生活はまだまだ続きます。部活の次は受験勉強が待っています。この二年半の間に学んだたくさんのことをバネに、これからも頑張っていきましょう!一年生・二年生は、最後の試合を戦う先輩たちを見てきたことだと思います。どうでしたか？今までの二年半の思いを胸に戦う先輩たちの姿は、とてもかっこよく、輝いていたのではないでしょうか？いずれ、一・二年生のみなさんもこの場に立ちます。その時に、悔いの残らない試合をするためにも一生懸命、部活動に励んでください。最後に、阪神大会に出場する人、これから総合体育大会に出場する人、今まで積み上げてきたものを思いっきり出せるよう一生懸命にプレーしてきてください!

夏休みに向けて

もうすぐ夏休みが始まります。まず1学期を振り返って自分自身はどのような生活や行動、考え方が出来ましたか？今振り返ってみて、「あのときはちゃんと出来てよかった。」という良い点と「ここは直した方がよかった。」という悪い点を見つけて2学期や3学期につなげられるように、悪かった点は改善点を見つけて直せるように努力しましょう。毎年、夏休みになると生活のリズムが乱れていませんか？早寝・早起き・朝ごはんをしっかり守っていますか？

夏休みは、普段のように朝早く起きて学校に行く必要がないため、多くの人が昼近くまで寝てしまっていたり、夜遅くまで起きていたりと生活のリズムが乱れてしまうことが多いと思います。そのため、朝ごはんを食べずに一日二食という人もいるでしょう。ですがそれでは、何もする気にならず宿題を後に回してしまうことが多いのではないでしょうか？夏休みだからといって、遊んでばかりではいけません。宿題をコツコツ毎日して、1学期の復習もきちんとしておきましょう。夏休みが明けると課題テストもあるので、自分の苦手なところを放っておくと2学期や、3学期にも影響してくると思うので、しっかり宿題・復習をしてテストやこれからに備えておきましょう。3年生は今年受験があります。受験に備えるためには、夏休みという時間を有効に使うことも大切だと思います。まだまだだと思わずにしっかり苦手を潰しておきましょう。

しかしなかなか勉強がはかどらない人もいると思います。そんな人は毎日計画を立てると良いと思います。そのときは無理な計画を立てずに、先を見て自分のペースにあった計画を立てましょう。自分が実行できない計画をするとやっている意味がなくなってしまうのでやめておきましょう。どうしてもわからないところは先生や友達に教えてもらうなど工夫をすると良いと思います。最後に、自分の立てた計画をしっかり守って気を緩めすぎずに、夏休みの思い出をたくさん作って充実したものになったと思えるようにしましょう。

けじめについて

新学期が始まってから三ヶ月が過ぎました。皆さんはもう新しいクラスでの生活にも慣れてしまったと思います。しかし、慣れから生活態度に気のゆるみが出てきてはいないでしょうか？もしかしたら授業態度が良くない人がいるのではないかと思います。チャイムに遅れてしまったり、しゃべったり、ぼんやりしたりしてはいないでしょうか。学校生活を送る上でけじめは大切です。けじめとは『はっきりさせておくことが必要と感じられる区別』のことです。時間にルーズになれば生活にメリハリがなくなり、やる気が出なくなったり、提出物が遅れたり、授業に遅刻したりして、成績ダウンにつながってしまいます。先生の話を聞かないことは先生に対して失礼ですし、せっかくの助言も聞けず、自分の力になりません。集中して授業を受ければ記憶に残り、成績アップにつながると思います。そのためにもけじめが重要です。今回、チャイム着席週間があり、みなさんはチャイムに遅れないように協力しあったと思います。いつチャイムが鳴るか常に警戒し、おしゃべりも早々に切り上げなければならず、移動教室に遅れそうになれば走らなければならない。そんな生活はしんどかった、なんて人はいないでしょうか。しかし、それは『できて当たり前』なことです。小学校からの生活で当然のように身につけなければならないことです。この立花中学校の先生は優しい方ばかりですが、その優しさにいつまでも甘えてはいられません。特に三年生はもう入試が、卒業が、半年と数か月前に迫っているのです。中学校を卒業してしまえばもうそんな甘えは許されません。いっそう厳しい社会の目が向けられることになります。そのためにけじめをつけた生活態度が必要です。定時を守ること。授業に意欲を示すこと。その上でしっかりと授業の内容を把握すること。それが重要です。自分はできていないと思う人、諦めないでください。人間は少しずつでも変われる生き物です。そのまま諦めてしまえば変われないままです。みなさんが前向きに変われる勇気を持った人たちでありますように。

美化点検週間

美化点検週間が終わりました。

皆さんはしっかり取り組むことが、出来ましたか？自分なりにキレイに掃除することが、できましたか？

美化点検週間とは、教室をいつもキレイにする習慣をつけるための行事です。ですが、美化点検週間がなくても教室や特区はキレイにしておくものです。今回のことで「自分の教室はここが汚くなるなぁ」という場所がわかったと思います。次から掃除するときはそこを重点的に掃除していきましょう。そして誰もが「この教室はキレイだなぁ」と思えるような、そして先生方にもほめられるような教室を目指しましょう。

皆さんは、美化週間はどんな利点があると思いますか？まず一つは、もちろん教室や特区をキレイに掃除する習慣をつけることだと思います。教室をキレイにすることで、授業の集中力も上がってくると思います。特区も皆がキレイに使ったり、少し気を使うだけでもたくさんの人が気持ちよく使うことができます。

二つ目は、自分達の使う場所を皆で協力して掃除することだと思います。いまでもクラスなどで協力する行事はありましたが、『掃除をする』ことは誰もができることなので、全員が平等に参加することができる行事だと思います。三つ目は、いつも見ていない場所を気にかけることが出来ることだと思います。例えば、黒板のみぞやかさ立て、掲示物を改めてキレイにすることが出来ましたか？それと、一人一人が後ろの棚をキレイにしようと心がけたはずです。こういった行事は年に一回しか行われません。だからこそ、全クラスがお互いに競争しあって自分達が出来ていなかったところを、次の日には改善できるようにしっかりと取り組まなければなりません。

来年にはまた違うクラスで望むことになりますが、それぞれ今年の反省点を皆で出し合いながら、来年の美化週間の時に活かすこともいいと思います。

今回の結果を楽しみにして、来年もクラスで協力し合ってしっかり取り組みましょう。

編集後記

来週から夏休みがはじまります。

夏休みあけにはテストがあるので、休みだからといって、なまけたりせずにしっかり宿題と1学期の予習と復習を勉強してテストに備えましょう。

(岩崎・竹尾・池本・梶本)